

02 市長コラム
03 目次
 イベント情報
04 平成30年度
 決算報告
08 いきいき介護
 国保だより
09 行政情報
13 リレーコラム
 カフェ店主
 末田 美穂さん
14 令和元年度
 仕事目標上半期進捗状況
18 全国大会等出場選手一覧
19 健康いいカラダ
20 げんきな親子
21 新しい小学校が誕生します
22 としょもっと
24 HOTな話題
26 国民年金のあれこれ
 違う文化から日本を考える
27 あきたかためし
28 消防
29 警察
30 高橋一族の歴史に迫る
31 歴史紀行
32 トピックス／募集
34 およろこび・おくやみ
35 11月の相談
36 安芸高田のアイドル



（今月の表紙）

毎年美土里町「西尾山八幡神社」で奉納されている「浦安の舞（巫女の舞）」
写真左から国広陽芽華さん、岡原里桜さん、水戸明日花さん（美土里小）撮影：9月21日（土）

■浦安の舞■

昭和15年に紀元2600年を記念して宮内庁が全国に広めたものです。戦後は衰退し、現在市内では西尾山八幡神社や横田八幡神社などで行われ、地元の少女が舞を披露しています。

本庁・支所連絡先

安芸高田市 ☎ お太助フォン 42-2111（代）
八千代支所 ☎ お太助フォン 52-2111
美土里支所 ☎ お太助フォン 54-0311
高宮支所 ☎ お太助フォン 57-0311
甲田支所 ☎ お太助フォン 45-4111
向原支所 ☎ お太助フォン 46-3111

市役所開庁時間 8:30～17:15
（土曜・日曜日、祝日、年末年始は閉庁）

安芸高田市
ホームページ
https://www.akitakata.jp



11月のイベント情報

今月開催の市内イベント情報をお知らせします

11/2 土

みつフェス
（みつやの里スポーツクラブ大交流会）

所 吉田運動公園（吉田町吉田）
開 9時30分～15時30分
図 みつフェス実行委員会 ☎42-2808
ミニテニス、ラージボール卓球やバスケットなどのスポーツ体験交流会。元サンフレッチェ森崎兄弟のサイン会も開催します。



11/3 祝

八千代およりん祭

所 八千代支所駐車場（八千代町佐々井）
開 10時～15時
図 八千代支所 ☎ お太助フォン52-2111
各種ステージ発表、チャリティー抽選会、パザーなど、楽しくてどこか懐かしいお祭り「およりん祭」にお寄りください。



11/3 祝

カエデ祭り

所 唯称庵跡のカエデ林（甲田町上甲立）
開 9時～16時 図 実行委員会 ☎090-9736-1954
紅く色づく県指定天然記念物「唯称庵跡のカエデ林」。当日は豚汁や新鮮野菜の販売なども行われます。



11/17日

いのしかんフェスティバル

所 向原生涯学習センターみらい（向原町坂）
開 10時～20時 図 実行委員会 ☎090-6575-1938
エアバンドコンテストやetto-ettoひろしまによるステージ。地獄汁やB級グルメ、元祖汁なし担々麺「くにもつ」も出店。



11/23祝

ひろしま神楽グランプリ

所 神楽門前湯治村（美土里町本郷）
開 開演：12時30分
図 神楽門前湯治村 ☎54-0888
各地の競演大会で優秀な成績を取めた神楽団が競い合う最もアツい競演大会。旧舞・新舞、それぞれの頂点を目指して今年も白熱。



サンフレッチェ広島	日時	対戦相手
11月・12月の公式戦日程 （ホームゲーム） 会場：エディオンスタジアム広島	11/9（土）※	14時～ 浦和レッズ
	11/23（土・祝）	14時～ 鹿島アントラーズ
	12/7（土）	14時～ ベガルタ仙台

※AFCチャンピオンズリーグ2019で浦和レッズが決勝に進出した場合は試合日時が変更になります。

ワクナガレオリック	日時	対戦相手
11月・12月の公式戦日程 （ホームゲーム） 会場：湧永満之記念体育館	11/16（土）	14時～ トヨタ車体



自治体戦略2040構想を見据えた戦略

「自治体戦略2040構想研究会」で、日本の高齢者（65歳以上）人口がピークを迎える2040年頃に向け、人口減少下における満足度の高い人生と人間を尊重する社会の構築について議論されました。研究会の報告には、自治体における危機を明確にし、危機を乗り越えるための施策の開発とその施策の機能を最大限に発揮できるようにするため、現在の自治体行政の見直しが必要であるとの提言があります。

今後、自治体行政は超高齢化社会の到来を見据え、持続可能な形で住民サービスを提供できるプラットフォーム（受け皿）を構築しなければなりません。そのためには、住民サービスの質を落とさないことを大前提として、次の5つの基本的方向性が必要であると考えます。

①自治体間の有機的連携
行政のフルセット主義（全てを自ら整備・保有する考え）を見直し、不足する部分を自治体間で補いながら自治体の機能を維持し、人々の暮らしやすさを保障していく。

②自治体と県との連携強化
市町と県との関係を柔軟化し、県から

市に対する補完機能を強化する。また、それぞれの地域にに応じ、県と市の機能を結集した行政の共有基盤を構築する。

③体制の強化・構築
地球温暖化等の異常気象の影響により、大規模な災害が発生していることを踏まえ危機管理体制を更に強化する。また、高齢化社会の進行により、医療・介護のニーズが急速に高まっていくため、需要に対する供給体制を構築する。

④多様な働き方の受入
若年層の減少により、今後も企業等における人材確保が困難となることが見込まれる。定年退職者や出産を機に退職した女性、外国人など活躍の場を求めている人に対し、多様な働き方ができる受け皿を創出する。

⑤事業の標準化・共同化
人口減少により、多くの自治体では経営資源が制約されることになる。そのため、これまで自治体で実施してきたあらゆる事業に対して、ICT（情報通信技術）やAI（人工知能）を積極的に活用し大胆に標準化・共同化する。



本市では、国より20年近く早く高齢者人口がピークに達する見込みとなっております。先述の課題は深刻です。ただ、幸い本市では、他市町に先駆けて、危機管理体制の確立の検討、将来を見据えた多文化共生社会を構築してまいりました。今後も国の施策に後れを取らないよう、ドローン活用による無人化農業や資源循環型社会の構築としてゴミの資源化によるごみ焼却場廃止、AI・ICTを活用した地域医療システムの構築等の様々な施策を模索し、超高齢化社会の中でも市民の皆様が安心して生活できる環境を整えていきたいと思っております。